

ラオス通信 - ໂທລະຄົມ ລາວ -



発行日 平成27年3月18日 Vol.3 ~国の概観 その①~

ラオスって??

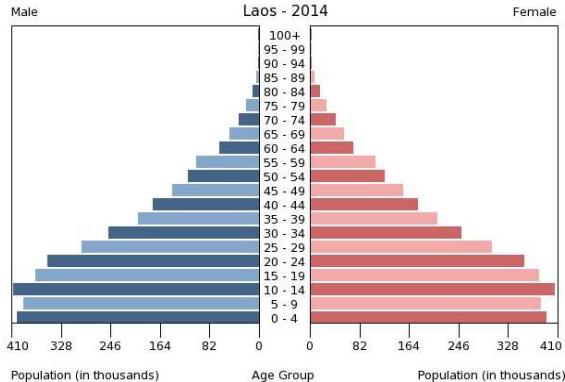
日本は3月も半ばになり、少し暖かくなっていると思いますが、すでにここ赴任先であるウドムサイでは連日真夏日が続いています。今回から数回に渡ってラオスの人口、気候、民族、言語、宗教、歴史そして日本との関わりなどの概観について触れていきたいと思っています。

人口は? 人は少ない! 若者が多い!!

第1号でも触れましたが約651万人です。想像しにくいと思いますので日本の都市の比較してみます。日本で一番人口が多い市である横浜市が約370万人、大阪市が約270万人です。都道府県単位で見ると、千葉県が約630万人で一番近く、兵庫県が約560万人です(いずれも2010年国勢調査)。

兵庫県の面積がラオスの面積の30分の1です。30倍の面積に兵庫県と相当する人口しかないため人口密度は低く、街のにぎわいも少しは想像できるかもしれません。

補足ですが、人口構成は、24歳以下が全体の約56%を占めており、**若年者の人口が多い**です。一方で、日本は全体の約20%強です。



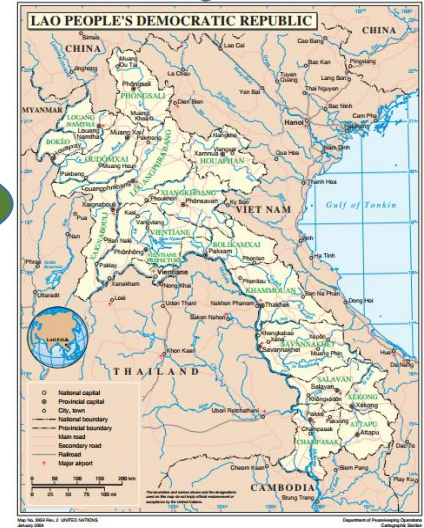
(出所): <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/la.html> (アメリカ中央情報局HP2015/3/16)

今年、ラオスは国勢調査の年で、私も住んでいる村の役場で調査を受けました。日本は5年ごとですが、ラオスでは10年ごとに実施されます。国連は10年以内に実施するように各国に求めています。

左: 啓発ポスター
右: 調査用紙 “意外” とちゃんとしてる!?



日本の本州と同じ面積



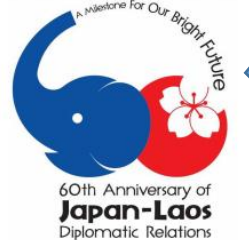
(出所): Lao People's Democratic Republic, Map No. 3038 Rev. 2, January 2004 (<http://www.usgpo.com/Collections/MapInfo/Show.asp>)

気候は? 1年中暑い!?

熱帯モンスーン気候帯に属しており、5月~10月までが雨期、11月~4月までが乾期です。熱帯地域ですが、**12月、1月は寒く**なります。私の赴任先は標高が高く(標高600^{メートル} 生駒山: 642^{メートル})、朝晩では10度を切ることもあります。冬が短く、暖房器具が普及していないため室内は非常に寒いです。そのため、ラオ人は屋内でもコートなど厚着して過ごし、屋外で焚火して暖を取ります。また、今の時期は朝晩は16度程度で過ごしやすいですが、日中は30度を超えるため**昼夜の気温差が大きく**身体への負担が大きいです。

あとがき

こちらに来て驚いたことの1つに冬の冷え込みの厳しさがあります。屋内では極力厚着をし、就寝時には日本から送ってもらった寝袋を使って寒さを凌いでいました。今、日中はその寒さがうそであったかのように真夏日が続いています。1年間で最も暑い4月に向けて戦々恐々としている毎日です。私の赴任地の気象データが↓のアドレスから見れますのでチェックしてみてください。 <http://www.msn.com/en-us/weather/today/Muang-Xay-Laos/wo-city-20.730,101.981?iso=LA&savedegree=true&weadegree=yes>



今年日本・ラオス外交関係樹立60周年!